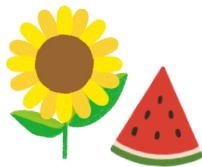


としょかん だより

2026.8 No.222



不動技研ながさき市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ

<https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページ

Topic

■図書館さんぽシリーズ②

市立図書館公式Instagramのアイコン
になっている三角屋根。図書館のどこ
にあるかご存知ですか？

正解は……

図書館のクロスロードが交差する真上。
晴れた日には柔らかな光が差し込みます。



Information

図書の展示

1階特集展示 いろいろなくにのわたしたち(～8/30)

特別展示 「トークイベント」体でわかりたい

『朽ちて死ぬ自由』村瀬孝生×『鶏まみれ』繁延あづさW刊行記念」連動展示(～8/8)

2階特集展示 考えよう 平和について(～8/30)

特別展示 長崎を描いた作品～コミック編～

特別展示 「れきぶん×としょかん ダイナミックで華麗！

「南蛮屏風」を知る・つくるワークショップ」連動展示(～8/19)

YA特集展示 読書感想文におすすめの本

投稿展示 うろ覚えスケッチ

児童特集展示 調べる学習にちょうせん！

ミニ展示 おばけやしきへようこそ！おばけ・妖怪のはなし

特別展示 レオ・レオーニとあそぼう！

長崎県美術館企画展「レオ・レオーニと仲間たち」連動展示(～8/30)



イベント

被爆81年ナガサキ原爆写真展

「被爆81年ナガサキ原爆写真展」が7月22日(水)に開幕し、原爆直後の惨禍を伝える写真に多くの来場者が見入っていました。会場では(公財)長崎平和推進協会写真資料調査部会員と原爆写真ユースガイドが写真の説明を行います。今年はクロスロードでの開催ですので、開館時間中はいつでもご覧いただけます。

※写真展は8月3日(月)までの開催

写真のガイドは10時～16時



寄贈紹介

田中児童文庫

公益財団法人田中奨学育成基金様は、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和55年度から児童書の寄贈を続けられています。

今年度は53冊(8万円相当)の児童書をいただき、寄贈図書の累計は2,835冊になります。



開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。

としょかんだよりの最新号・バックナンバーは図書館ホームページからご覧いただけます。

BOOKS：日々を記す

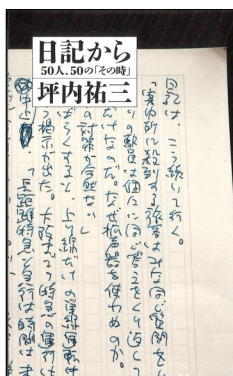
流れゆく今を切り取って記録に留める日記。



幕末女性の生活 日記に見るリアルな日常 史料で読む庶民の暮らし

村上 紀夫/著
創元社
384.6ム(2階フロア)

食事や妊娠・出産、ブームだった金魚飼育をはじめ、ご近所付き合いから遠い地で起こった黒船来航まで……。歴史上の著名人や有力者ではなく、江戸時代後期に市井で生きた女性たちによる4つの日記。他愛ないつぶやきからわかる当時の暮らしぶりは、教科書で学ぶ歴史とは一味違うリアルな日常を浮き上がらせる。



日記から 50人、50の「その時」

坪内 祐三/著
本の雑誌社
281ツ(2階フロア)

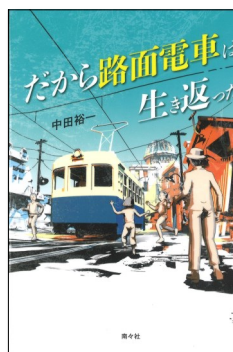
夏目漱石、高見順、遠藤周作など、明治から昭和にかけて活躍した作家や著名人の、日記の一部を切り取り紹介する。新聞で1年間連載された本書は、新聞掲載日と前後する日付の日記を取り上げ、背景にある当時の社会情勢を解説しながら、記した書き手の思いを読み解く。



94歳セツの新聞 ちぎり絵日記

木村 セツ/ちぎり絵
里山社
H726.9キ(1階趣味娯楽)

ぎょうざ、鮭のホイル焼き、毎日吞んでいる牛乳パック、いつも使っているラジオなど、身近なものを題材とした新聞のちぎり絵に日記が添えられた作品集。日々の生活が垣間見える写真も掲載。



だから路面電車は 生き返った

中田 裕一/著
南々社
G686.9ナ(2階原爆)

1945年8月6日。広島電鉄電気課長松浦孝明氏の業務日誌から見てくるあの日、各方面からの救援、そして3日後の復旧。なぜいち早く路面電車を復旧させ得たのか。後世、同じ広島電鉄の乗務員を務めた著者が関係者を訪ね、記録を辿り、路面電車を生き返らせた人々の努力と信念を明らかにしていく。



更級日記

菅原孝標女/著
江國 香織/訳
河出書房新社
B915.3ス(1階文庫)

平安時代を代表する文学作品の一つ「更級日記」。物語に憧れた少女は、やがて宮中に出仕し、妻となり母となる。晩年、胸に去来したものと。菅原孝標女にシニカルな座視を持った書き手としての魅力を感じながら、江國香織が現代の読者に向けて読みやすく訳した1冊。



自閉症のぼくは 書くことで息をする 14歳、ナチュラルリストの日記

ダーラ・マカナルティ/著
近藤 隆文/訳
辰巳出版
M936マ(1階外国現代)

ぼくの目に映る自然や命、世界はこんなにも美しい。14歳の少年が見つめた、北アイルランドの四季や動植物。1年間の日記には、息が詰まりそうな日常やヒリヒリとした気持ちなど、等身大の率直な言葉も綴られる。自然や命の鮮烈な煌めきに満ちた世界へ、全身全霊で飛び込んでいく。

公式SNS
イベント情報
などを発信中♪



X



LINE



Instagram

本や雑誌を
無料で読めます♪



電子図書館